



第72回 卒業式



一方、五郷中学校では前川秀也君が唯一の卒業生となった。在校生や保護者、教員、地域の人たちが

の拍手に迎えられ、卒業生の前川君が入場。高田有治校長から卒業証書が手渡された。前川君は3年生として生徒会をはじめ、様々な学校、地域活動で後輩たちを引っ張ってきた。後

輩たちも矜しさを振り払い、前川君の卒業を祝福していた。



【卒業証書を受け取る前川君（五郷中）】

好奇心もって未来へ

熊野市 8 中学校で卒業式

2019. 3. 8(ヨシクマ新聞より)



感謝胸に笑顔の門出

東紀州の中学校で卒業式

東紀州五市町の中学校で二百六十九人が思い出を胸に八日、卒業式があり、計四一集立っていった。



① 1人だけの卒業生となった前川さん(左)＝熊野市の五郷中で
② 拍手の中、笑顔で学びやを去る卒業生ら＝尾鷲市の尾鷲中で

五郷中は、卒業生が前川秀也さんのみ。在校生二人への答辞で、文化祭や修学旅行を振り返り、教員や家族への感謝とともに「高校に行っても、さらに頑張っていきたい」と抱負を述べた。

高田有治校長は「人工知能(AI)の発展が進む社会になったとしても、求められるのは相手を気遣う優しさ。その心を忘れずにチャレンジしてほしい」と伝えた。

御浜町は六十九人、紀宝町は九十五人、紀北町は百十五人が卒業した。
(木村汐里、木造康博)



2019. 3. 9(中日新聞より)



3月8日(金)に第72回卒業証書授与式がありました。本校からは1人の卒業生が、保護者やたくさんの地域の方に見送られ、五郷中学校を巣立っていきました。校長先生から堂々と卒業証書を受け取る姿に3年間の成長を感じることができました。

